

第33週の発生動向(2007/8/13~2007/8/19)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内において第26週から、東地方+青森市保健所管内では第27週から**警報**が継続しています。

第33週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ															0				
(72) RSウイルス感染症															0				
(73) 咽頭結膜熱	1	0.11	2	0.22					4	0.67	7	1.75	14	0.33	-9			1	0.13
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.67	6	0.67	4	0.44			3	0.50	3	0.75	22	0.52	1	1	1.00	5	0.63
(75) 感染性胃腸炎	6	0.67	8	0.89	4	0.44	6	1.20	5	0.83	10	2.50	39	0.93	-17	4	4.00	2	0.25
(76) 水痘	3	0.33	2	0.22	9	1.00			6	1.00	3	0.75	23	0.55	4			3	0.38
(77) 手足口病	11	1.22	12	1.33	5	0.56	7	1.40	7	1.17			42	1.00	18	2	2.00	9	1.13
(78) 伝染性紅斑									4	0.67			4	0.10	-3				
(79) 突発性発しん	3	0.33	5	0.56	3	0.33	2	0.40	4	0.67	5	1.25	22	0.52	-10	2	2.00	1	0.13
(80) 百日咳															0				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	65	7.22	31	3.44	5	0.56	11	2.20	30	5.00	13	3.25	155	3.69	9	14	14.00	51	6.38
(83) 麻しん(成人を除く)															0				
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.33	2	0.22	5	0.56	1	0.20	1	0.17			12	0.29	-11			3	0.38
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50			1	0.50	6	6.00	1	0.50			11	1.00	8			3	1.50
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					5	5.00	8	1.33	6				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む) 注: 届出数は速報値です。

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 五所川原保健所1人、弘前保健所2人 (19年計: 98人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 五所川原保健所1人、青森市保健所1人 (19年計: 14人)

感染症の窓

百日咳

累積報告数

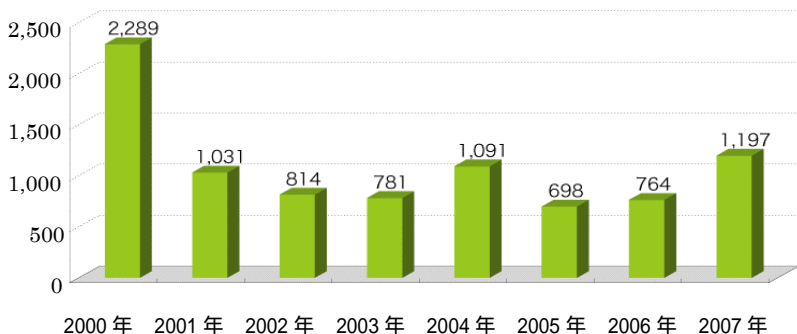


図1 全国における百日咳累積報告数 2007年(第1~第29週)

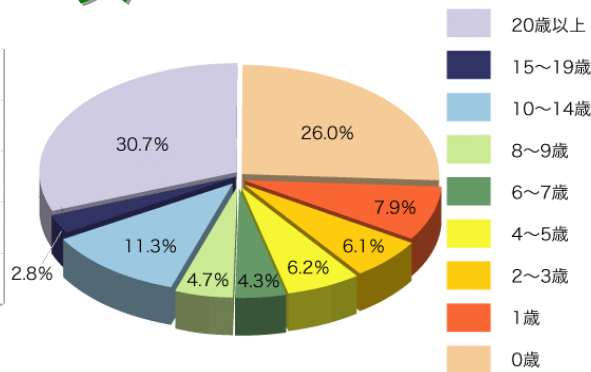


図2 全国における年齢群別割合 2007年(第1~第29週)

国立感染症研究所より転載

全国の2007年第1~第29週までの累積報告数は、2000年に次いで多い1,197人となっており(図1)、本県の第1~第33週までの累計は6人で、前年同時期より3人多い報告数となっています。年齢群別割合では、20歳以上が最も多く、次いで0歳が多い割合を示しています(図2)。年長児や成人が感染した場合の症状は、持続する咳の他、典型的な症状(痙攣性の発作)が少ないため、診断や治療が遅れ、乳幼児や周囲への感染源となって感染を拡大してしまう可能性もあります。また、本疾患は、母体からの移行抗体が有効に働かないため乳幼児早期から感染する可能性があり、感染した場合には重症化することがあるため、特に注意が必要です。感染予防であるワクチン接種については、最寄りの医療機関に相談しましょう。